

授業概要

科目名	導入教育	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	佐々木 志保		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・日本の礼儀や習慣等を身に着け、学習意欲や主体性を日常生活の中で発揮できるようになる。介護福祉士科に再入学できるように、将来へのモチベーションを維持し、進学する。まだ日本に来て不安な部分もあると思われる為、情報共有できる時間を取り、モチベーションを維持できるようにしていく。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
作業療法士として17年間勤務し、その内15年は高齢者施設や訪問看護で経験を積んだ。教職については10か月作業療法科の副担任として勤務した。日本の中で働くという心構えや、日本人の常識を学べる姿勢を身に着ける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
PPT、必要に応じて資料準備。					課題をだし、しっかりその授業を振り返る。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 挨拶、養成目的を知る				9	【授業単元】 全体目標を考える			
	【到達目標】 学校での心構えなど、挨拶の仕方を行う					【到達目標】 クラス一つになるための目標を明確にし、助け合いながら次年度にむけることを自覚する。			
2	【授業単元】 日本の防災、関係性を築く、学則				10	【授業単元】			
	【到達目標】 日本の災害の恐ろしさを学ぶ。 学校の規則を知り、その大切さを理解する					【到達目標】			
3	【授業単元】 介護の中で使用する漢字、電話のかけ方、職員室での挨拶の仕方				11	【授業単元】			
	【到達目標】 漢字の意味、読み書きができるようになる 学校での職員室の入り方や電話のかけかたを学ぶ					【到達目標】			
4	【授業単元】 チームス 学生ポータルサイト設定する				12	【授業単元】			
	【到達目標】 -学校で利用するデバイスを理解する。そして操作できるようになるでの食文化の違い					【到達目標】			
5	【授業単元】 公園に散策。課題の重要性				13	【授業単元】			
	【到達目標】 課題を出すことの誠実さを知る -調理内容をしっかり理解する。					【到達目標】			
6	【授業単元】 介護予防防レク(てつまる先生)				14	【授業単元】			
	【到達目標】 介護の中でのゲームのようなものがあることを理解する。 介護を行う上で体操の重要性を知る					【到達目標】			
7	【授業単元】 自己紹介書記入 施設について				15	【授業単元】			
	【到達目標】 場所の漢字を書くことができ、理解する。					【到達目標】			
8	【授業単元】 介護福祉士になるための個人目標を立てる				【成績評価の方法と基準】				
	【到達目標】 個人目標をたて、自分たちの将来像を明確にする。				科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学びの姿勢を身に着けるために、規律をしっかり守らせる。									

授業概要

	文章表現技法	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	峯崎 茉莉		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
①相手に自分の気持ちなどを正しく伝えるためのポイントをがわかり、日常生活やアルバイト等でも活かせるようになる。 ②日本の高齢者が過ごしてきた文化や時代を知り、日本語への学びを深めることができる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
登録日本語教員の資格を持ち、介護療養型病院や有料老人ホームで勤務した経験がある教員が、専門職として必要な日本語の学びができるように授業を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】 ・講師作成PPT・プリント					【授業時間外における学習】 日本語や高齢者への理解を深め、初任者研修、アルバイトで、周りの人とのコミュニケーションをとるように心がける				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 オリエンテーション				9	【授業単元】 アルバイト面接の最終確認			
	【到達目標】 授業の進め方と、介護職における「書くこと」の重要性を理解する。 授業ごとに書く「サクスカード」の書き方がわかる					【到達目標】 アルバイト面接にむけて、質問への返答などについて確認ができる			
2	【授業単元】 「なぜ介護の仕事をしたいか」を伝える				10	【授業単元】 観察文の作成			
	【到達目標】 アルバイト面接にむけた、志望動機を書くときの単語・文章表現を学ぶ					【到達目標】 写真を見て、何が起きているか(事実)と、どう見えるか(推測)を書ける			
3	【授業単元】 【5月 端午の節句】 小さい時のこと(過去)や経験を書くこと				11	【授業単元】 感謝を伝えるとき表現			
	【到達目標】 ①子供のときの思い出を書き、相手に伝えられる ②利用者さんに昔のことを尋ねる表現を学ぶ					【到達目標】 5W1Hで感謝の気持ちを伝えることができる			
4	【授業単元】 電話で話すときに大切な表現について				12	【授業単元】 季節に合わせた日本食をつくる(そうめん) (1限 ホームルームと合同授業)			
	【到達目標】 ①電話で話す場面を理解できる ②アルバイト面接準備に必要な電話連絡について学ぶ					【到達目標】 ①日本の食文化の理解ができる ②夏を快適に過ごす習慣・文化について知る			
5	【授業単元】 季節に合わせた行事を体験(運動会)・アルバイト面接に向けた準備 (1限 ホームルームと合同授業)				13	【授業単元】 相手のがんばりを褒めるとき表現 (1限 ホームルームと合同授業)			
	【到達目標】 ①日本の行事を理解する ②面接準備の確認ができる					【到達目標】 前期でがんばったクラスの仲間を褒めることができる			
6	【授業単元】 気持ちを表す言葉(喜び・楽しい)の学びを深める				14	【授業単元】 【敬老の日】 季節に合わせた日本食をつくる(和菓子 あんこ巻き) (1限 ホームルームと合同授業)			
	【到達目標】 前回の授業を通じて感じた うれしい、たのしい、などのポジティブな感情を文章で書ける					【到達目標】 ①日本の行事を理解する ②お祝いするとき表現を学ぶことができる			
7	【授業単元】 気持ちを表す言葉(困った、難しい)の学びを深める				15	【授業単元】 【定期試験(前期)】前期の振り返り (1限 ホームルームと合同授業)			
	【到達目標】 ①今までの日本の生活やアルバイト経験で困ったこと、難しかったことについて文章で書ける ②介護のアルバイトでも、先輩に困ったことを伝え、教えてほしいと相談することができる(会話)					【到達目標】 パワーポイントを使って、前期の学びを発表できる			
8	【授業単元】 【中間テスト】1回～7回の総復習				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 面接に向けて、志望動機・自己アピールについて書くことができる								
【履修に当たっての心構え・留意点】 「正しい日本語」を書くことも大切ですが、それ以上に「自分の気持ち」や「目の前の人の様子」を一生懸命伝えようとする姿勢を大切にしましょう 間違いを恐れず、クラスメートと楽しく言葉を交わしながら、2年制クラスへの準備を整えていきましょう。									

授 業 概 要

科目名	文章表現技法	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	峯崎 茉莉	
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数 30 時間
【授業を通じての到達目標】								
①相手に自分の気持ちなどを正しく伝えるためのポイントをがわかり、日常生活やアルバイト等でも活かせるようになる。 ②日本の高齢者が過ごしてきた文化や時代を知り、日本語への学びを深めることができる								
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)								
登録日本語教員の資格を持ち、介護療養型病院や有料老人ホームで勤務した経験がある教員が、専門職として必要な日本語の学びができるように授業を行う								
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習】				
				日本語や高齢者への理解を深め、初任者研修、アルバイトで、周りの人とのコミュニケーションをとるように心がける				
コマ	授業計画			コマ	授業計画			
1	【授業単元】 後期オリエンテーション 好きなアニメや作品についておすすめポイントを伝えるときの表現 (芸術の秋にちなみ) 【到達目標】 ①前期の復習と後期の授業の流れが確認できる ②相手に自分の好きなものを紹介できる			9	【授業単元】 介護福祉士を目指すために① 【到達目標】 介護福祉士として働く先輩の話を聞き、介護福祉士を目指すときに大切なことを学ぶ。			
2	【授業単元】 音楽や体操のレクで使う表現 【到達目標】 ①利用者さんへ声をかけるときの表現を学ぶことができる ②レクをしたときの利用者さんの様子を報告できる			10	【授業単元】 報告・記録の総まとめ 【到達目標】 アルバイトで使う報告や記録の表現のについて学びを深める			
3	【授業単元】 日本の歴史を知る(学外授業:江戸東京博物館) (1限 ホームルームと合同授業) 【到達目標】 高齢者が過ごしてきた時代や日本文化を理解する			11	【授業単元】 意見を伝えるときの表現 【到達目標】 「わたしはこう思う」と伝えるときの表現・配慮について理解を深めることができる			
4	【授業単元】 体調変化をつたえとときの表現 【到達目標】 ①痛み・だるさなどの表現の違いを理解できる ②体調が悪いときに、いつから、どんな症状があるかを報告できる			12	【授業単元】 季節に合わせた行事の理解を深める(節分) 【到達目標】 日本の節分(豆まき)の行事がわかる			
5	【授業単元】 ＜アルバイトでの報告＞ 食事場面・入浴場面での記録の練習 【到達目標】 利用者の様子について、報告・記録することに慣れていく			13	【授業単元】 成果発表会に向けた準備① 【到達目標】 1年間の自分の成長を、具体的なエピソードを交えて記述する。			
6	【授業単元】 季節に合わせた日本食をつくる(一汁三菜) (1限 ホームルームと合同授業) 【到達目標】 ①料理でつかう日本語表現を理解する ②日本の食事マナーについて確認できる			14	【授業単元】 成果発表会に向けた準備② 【到達目標】 介護福祉士科進学に向けた、文章力の確認ができる			
7	【授業単元】 季節の行事【秋】についての理解を深める 【到達目標】 ①秋の行事を理解する ②秋に楽しみたいことを文章で書くことができる			15	【授業単元】 【定期試験(前期)】前期の振り返り (1限 ホームルームと合同授業) 【到達目標】 卒業に向けた成果発表ができる			
8	【授業単元】 【中間テスト】1回～7回の総復習 【到達目標】 学んだ語彙と記述方法を総復習する。			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】								
「正しい日本語」を書くことも大切ですが、それ以上に「自分の気持ち」や「目の前の人の様子」を一生懸命伝えようとする姿勢を大切にしましょう 間違いを恐れず、クラスメートと楽しく言葉を交わしながら、2年制クラスへの準備を整えていきましょう。								

授業概要

科目名	ITスキル	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	株式会社 プレーンスタッフコンサルタンツ		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・スムーズにローマ字タイピングができる ・文字入力、マウス/タッチパッド操作、フォルダでのファイル管理、ファイルのダウンロードやアップロードをスムーズに行うことができる ・PowerPointで発表のためのスライドを作成できる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)プレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
オリジナルのe-learningテキスト					e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 PC環境確認(Teams,Officeソフト) タイピング練習 【到達目標】 PC環境を確認してPCを使えるようにする				9	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:アニメーション設定、画面切り替え 【到達目標】 アニメーションや画面切り替えを使い動きのあるスライドを作成できる			
2	【授業単元】 Teams確認 タイピング練習、Wordの起動 【到達目標】 PC環境を確認してPCを使えるようにする タイピングのホームポジションを理解する				10	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:見やすいデザインのコツ 【到達目標】 伝えたいことがわかりやすいスライドのデザインができる			
3	【授業単元】 タイピング練習 Google翻訳、生成AIを使って日本語で自己紹介作成 【到達目標】 わからない日本語を翻訳とAIを使って理解することができる				11	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:テーマに合ったスライド作成1 【到達目標】 与えられたテーマでスライドを作成できる			
4	【授業単元】 PC基本操作 マウス操作・ファイル管理・画面2画面表示・ファイルダウンロード・ファイル名変更・アップロード 【到達目標】 PCの基本操作ができる				12	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:テーマに合ったスライド作成2 【到達目標】 与えられたテーマでスライドを作成できる			
5	【授業単元】 タイピング練習・文字入力 PowerPoint:起動、文字入力 【到達目標】 PowerPointの起動と文字入力・ファイル保存ができる				13	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:テーマに合ったスライド作成3 【到達目標】 与えられたテーマでスライドを作成できる			
6	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:文字の書式変更、スライドの追加 【到達目標】 入力した文字に書式を設定できる				14	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:テーマに合ったスライド作成4 【到達目標】 与えられたテーマでスライドを作成できる			
7	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:写真・画像の挿入 【到達目標】 スライドに写真や画像を挿入して調整できる				15	【授業単元】 PowerPointまとめ PowerPoint試験 【到達目標】 PowerPointの基本操作をスムーズに行える			
8	【授業単元】 タイピング練習 PowerPoint:図形の挿入／PowerPoint中テスト(PowerPoint基本操作) 【到達目標】 図形を挿入し色の変更や文字入力ができる				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、操作にも慣れていきます。できるだけ日常に取り入れて活用してください									

授業概要

科目名	職業人基礎講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	權代 喜久子		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・介護福祉士になるための基礎的な知識を知る。・社会人としてのマナーや日本の習慣を身に付け実践することができる。 ・「なぜこれをするのか-根拠」を考え習慣化できる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
介護福祉士として施設・在宅の介護従事後、登録日本語教員としてビジネスパーソンへの日本語指導及び「介護の日本語」「国家試験対策」の経験のある教員がわかりやすい日本語で職業人としての心構えや知識を伝える。又初任者研修の復習を取り入れることで介護の仕事を理解し「介護職としての将来像」を具体的に描けるように実施する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
・講師作成PPT・プリント ・介護職員初任者研修テキスト1.2.3					・勉強時間を決めて毎日必ず宿題や自律学習をしましょう。又授業で学んだことを思い出しながら、街で目にする高齢者の様子を観察しましょう。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1・2	【授業単元】 ・オリエンテーション(自己紹介、クラスのルール、授業の目標、内容、進め方、学習方法、グループワークの進め方、宿題について) ・グループワーク・・・アイスブレイクゲーム 【到達目標】 ・クラスのルールを理解できる。・授業の目標や概要が理解できる。 ・グループワークのやり方を理解し実践できる				17・18	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・ビジネスマナー研修を受講 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・ビジネスマナー研修を理解し実践できる。			
	3・4	【授業単元】 ・介護の仕事とは何か。自国の高齢者との接し方と比較する ・介護職はどんな場所で、どんな仕事の人と働くのか 【到達目標】 ・介護の仕事と基本的理念を理解できる。介護の場は複数あることや一緒に働く専門職を理解できる。わかったことを自分の言葉で発表できる。				19・20	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・5大介護(①食事)、食事に関する言葉(火曜日に学習した) 食事介助の声かけ練習 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・食事に関する言葉を言える。食事介助の声かけの際、なぜそれを「言う」のか「する」のか考え適切な声かけができる。		
5・6		【授業単元】 ・社会人としての「身だしなみ」とは ・「報道相」とは何か、なぜ大切か 事例検討 【到達目標】 ・社会人として適切な「身だしなみ」を理解できる。・「報道相」はなぜ大切か理解できる。 ・事例検討から状況に応じた行動を理解し自分の言葉で発表できる。					21・22	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・5大介護(②入浴)入浴に関する言葉(火曜日に学習した) 入浴介助の声かけ練習 ・観察のポイント ・ヒートショックとは 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・入浴に関する言葉を言える。入浴介助の声かけの際、なぜそれを「言う」のか「する」のか考え適切な声かけができる。・観察のポイントやヒートショックを理解できる。	
	7・8	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・高齢者の身体の変化(火曜日の授業に運動) 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。・高齢者の身体の変化を話し合い理解し自分の言葉で発表し、学びを深めることができる。				23・24		【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・5大介護(③排泄)排泄に関する言葉(火曜日に学習した)、排泄介助の声かけ練習・観察のポイント 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。排泄介助の声かけの際、なぜそれを「言う」のか「する」のか考え適切な声かけができる。・観察のポイントや記録することを理解できる。	
9・10		【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・目と耳の変化と病氣(火曜日の授業に運動) ・高齢者に多い病氣-1の特徴と予防策 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。・高齢者の身体の変化や病氣を理解し自分の言葉で発表でき、学びを深めることができる。					25・26	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・5大介護(④移動)移動に関する言葉(火曜日に学習した)、移動介助の声かけ練習 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・移動に関する言葉を言える。移動介助の声かけの際、なぜそれを「言う」のか「する」のか考え適切な声かけができる。	
	11・12	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・高齢者に多い病氣-2の特徴と予防策 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・高齢者に多い病氣-2の病氣の特徴と予防策を理解し、わかったことを自分の言葉で発表できる。				27・28		【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・5大介護(⑤着脱)の会話、声かけ練習 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・着脱介助の声かけの際、なぜそれを「言う」のか「する」のか考え適切な声かけができる。	
13・14		【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・寝たきり状態が引き起こす病氣と予防策(自立支援) 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・寝たきり状態が引き起こす病氣を理解できる。予防として自立支援があることを理解しわかったことを自分の言葉で発表できる。					29・30	【授業単元】 ・17～28までの振り返り 定期試験、試験解答解説 【到達目標】 ・前期の学習を振り返り、今後の授業への課題を見つけることができる。	
	15・16	【授業単元】 ・1～14の振り返り ・中間試験 試験解答解説 【到達目標】 ・前半を振り返り、学習のまとめができる。				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。			
【履修に当たっての心構え・留意点】 ①わからないことはどんなことでも質問してわからないことをなくしましょう。②グループワークではメンバーの意見をよく聞きましょう。また自分が知っていること教えたり、教えてもらったりして一緒に楽しく勉強しましょう。③わかったことを自分の言葉で発表しましょう。									

授業概要

科目名	職業人基礎講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	権代 喜久子		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・介護福祉士になるための基礎的な知識を知る。・社会人としてのマナーや日本の習慣を身に着け実践することができる。 ・「なぜこれをするのか-根拠」を考え習慣化できる。・介護福祉士になることのモチベーションを高められる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
介護福祉士として施設・在宅の介護従事後、登録日本語教員としてビジネスパーソンへの日本語指導及び「介護の日本語」「国家試験対策」の経験のある教員がわかりやすい日本語で職業人としての心構えや知識を伝える。又初任者研修の復習を取り入れることで介護の仕事を理解し「介護職としての将来像」を具体的に描けるように実施する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
・講師作成PPT・プリント ・介護職員初任者研修テキスト1.2.3					・勉強時間を決めて毎日必ず宿題や自律学習をしましょう。又授業で学んだことを思い出しながら、街で目にする高齢者の様子を観察しましょう。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1・2	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・先輩の体験談を聞く 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・先輩の話を聞いて、将来をイメージできる。介護の仕事を具体的に知ることができる。				17・18	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・車いすの各名称と基本的な操作の体験 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・ボランティアに向けての基本的な車椅子に関することを理解できる。操作を体験できる。			
	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ①食事介助の際の危険(誤配、誤嚥、窒息など) ・自助具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、食事介助時の危険を理解し予防できる。自立のための自助具を知り、自立支援を理解できる。					【授業単元】 ・高齢者施設でボランティア活動をする(車いすを掃除し、タイヤに空気を入れる等) 【到達目標】 ・ボランティア活動を通して奉仕精神を養える。福祉用具を大切に使用できる。			
3・4	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ②入浴介助の際の危険(転倒やヒートショックなど) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、入浴介助時の危険を理解し予防できる。入浴の際の福祉用具を知り、自立支援を理解できる。				19・20	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会準備 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・グループで力を合わせて成果発表会の準備ができる			
	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ③排泄介助の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、排泄介助時の危険を理解し予防できる。自立のための福祉用具を知り、自立支援を理解できる。					【授業単元】 ・成果発表会 【到達目標】 ・学習したことの成果を大勢の前で発表できる。			
5・6	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ④移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。				21・22	【授業単元】 ・初任者研修の復習-日本の人口動態、高齢化率、ライフスタイルの変化・望ましい介護職の役割 【到達目標】 ・日本の現状を理解し発表できる。望ましい介護職の役割について意見交換ができ、将来の自分を具体的にイメージできる。			
	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑤着脱の際の危険(転倒など) ・自助具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、着脱介助時の危険を理解し予防できる。できないところを助けてくれる自助具を知り、自立支援を理解できる。					【授業単元】 ・17～28までの振り返り 定期試験、試験解答解説 【到達目標】 ・後期の学習を振り返り、今後の授業への課題を見つけることができる。 ・介護福祉科1年生としてクラスのリーダーシップがとれる。			
7・8	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑥移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。				23・24	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会の振り返り 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・成果発表会の振り返りができ、全体で共有できる。			
	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑦移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。					【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会の振り返り 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・成果発表会の振り返りができ、全体で共有できる。			
9・10	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑧移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。				25・26	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会の振り返り 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・成果発表会の振り返りができ、全体で共有できる。			
	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑨移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。					【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会の振り返り 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・成果発表会の振り返りができ、全体で共有できる。			
11・12	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑩移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。				27・28	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会の振り返り 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・成果発表会の振り返りができ、全体で共有できる。			
	【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・介護事故を防ぐ⑪移動の際の危険(転倒など) ・福祉用具 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・前期で学んだことを思い出し、移動介助時の危険を理解し予防できる。状態に応じた福祉用具の組み合わせを理解できる。					【授業単元】 ・初任者研修の復習(理解できなかったところや重要なポイント) ・成果発表会の振り返り 【到達目標】 ・初任者研修の復習ができる。 ・成果発表会の振り返りができ、全体で共有できる。			
13・14	【授業単元】 ・認知症サポーター養成講座を受講し火曜日に勉強したことも整理する 【到達目標】 ・認知症サポーター養成講座を受け、学習したことを整理でき、基礎的な知識が増える。 ・認知症の症状について、なぜそうなのか理解し自分の言葉で説明できる。				29・30	【授業単元】 ・認知症サポーター養成講座を受講し火曜日に勉強したことも整理する 【到達目標】 ・認知症サポーター養成講座を受け、学習したことを整理でき、基礎的な知識が増える。 ・認知症の症状について、なぜそうなのか理解し自分の言葉で説明できる。			
	【授業単元】 ・認知症サポーター養成講座を受講し火曜日に勉強したことも整理する 【到達目標】 ・認知症サポーター養成講座を受け、学習したことを整理でき、基礎的な知識が増える。 ・認知症の症状について、なぜそうなのか理解し自分の言葉で説明できる。					【授業単元】 ・認知症サポーター養成講座を受講し火曜日に勉強したことも整理する 【到達目標】 ・認知症サポーター養成講座を受け、学習したことを整理でき、基礎的な知識が増える。 ・認知症の症状について、なぜそうなのか理解し自分の言葉で説明できる。			
15・16	【授業単元】 ・1～14の振り返り ・中間試験 試験解答解説 【到達目標】 ・前半を振り返り、学習のまとめができる。				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【履修に当たっての心構え・留意点】 ①わからないことはどんなことでも質問してわからないことをなくしましょう。②グループワークではメンバーの意見をよく聞きましょう。また自分が知っていること教えたり、教えてもらったりして一緒に楽しく勉強しましょう。③わかったことを自分の言葉で発表しましょう。								

授 業 概 要

科目名	介護職員初任者研修講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	担当 教員	佐々木 志保 他		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義・演習	単位数	9 単位	総時間数	165 時間
【授業を通じての到達目標】									
介護職種の第一歩となる初任者の資格を取得する為に、実技、講義、演習を通し、スキルを身に着け、合格できるように導く。また、後期は合格しているものの、実技や知識での定着が弱いと考えるため、さらなる知識の定着を図る。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
福祉施設などの介護現場で介護業務経験のある講師により、移乗動作やADLの介助の仕方、介護の知識を学ぶ。通常15回講座を22回講座に変更し、知識の定着を図る。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
初任者講習1・2・3、PPT					自宅学習				
授業計画									
1 介護の仕事の理解 2 介護保険について 3 介護におけるコミュニケーション、また他利用者とのコミュニケーション 4 老化にともなうこととからだの変化 5 家族との関わり方 支援の仕方 6 生活と家事のしかた 7 快適な住環境の誠意と介護 8 移乗・移動動作の介護の仕方 9 ADLの介護について 10入浴、清潔保持の仕方 11 睡眠のメカニズムについて 12 終末期介護について 13 介護過程の基礎的理解 14 事例検討 以上1～14項目を繰り返し行い定着を図る									
【履修に当たっての心構え・留意点】					【成績評価の方法と基準】				
初任者研修を取り組めるように自宅学習等期日までに行えるように促しを行い、必ず出す習慣を身に着ける。 教科書を読むことが困難なことが多い。できるように一緒に教科書を読むなどを 行えるように実施していく。					<前期> 科目の評価は、自宅学習ABCDEにわけられており、C以上で次の科目にすすめることが可能。D以下は再度提出し、C以上になるまで繰り返し行う。 最終日にテストがあり、合格できるまで再度繰り返し実施する。 <後期>				

授業概要

科目名	ホスピタリティスキル	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	佐々木 志保		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
介護技術、利用者に対する尊敬そんけい)する心を持ち介護福祉士となる土台(どだい)を身につける。 実際に現場で働いている人に話をききながら、自分の仕事の参考にする。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
15年以上介護施設で作業療法士として従事していた。そのため、自分の経験を活かしながら、現場の状況を事例を踏まえつつ行っていく、介護福祉士の 本質を知ってもらう。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
PPT,初任者研修教科書1.2.3									
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 外部講師(がいぶこうし)をよび、社会的(しゃかいてき)なマナーを学ぶ 事例検討			9	【授業単元】 留学生(りゅうがくせい)の仕事での様子をきく				
	【到達目標】 社会的なマナーなどを学び、ご利用者様に対して活用できるようにする。 それを活用しながら事例検討を行い、対応の仕方を学ぶ				【到達目標】 現場を出てから大変なことなどを理解し、自分のアルバイト先でも活用できる。				
2	【授業単元】 虐待(ぎゃくたい)とはなにか			10	【授業単元】 感染症(かんせんしんしょう)とはなにか?				
	【到達目標】 虐待とはなにか、どのようなことをしたらいけないのか、りかいする				【到達目標】 感染症について学び、理解することができる				
3	【授業単元】 CD科と合同授業(ごうどうじゅぎょう)			11	【授業単元】 介護保険(かいごほけん)について学ぶ				
	【到達目標】 色々な人の対応の仕方を自ら判断し実施していく練習を行う。				【到達目標】 介護保険について理解することができる。				
4	【授業単元】 CD科と合同授業			12	【授業単元】 移動-移乗(いどう-いじやう)について				
	【到達目標】 色々な人の対応の仕方を自ら判断し実施していく練習を行う。				【到達目標】 車いすについてりかいすることができる。歩行(ほこう)の介助(かいすけ)の仕方を学ぶ。				
5	【授業単元】 心の発達(しんのかんたつ)とはなにか			13	【授業単元】 高齢者(こうれいしゃ)の特徴、対応(たいおう)の仕方 高齢者(こうれいしゃ)の方(かた)といっしょに体操(たいそう)をしよう。				
	【到達目標】 発達(たつた)についての段階(だんかい)などを学び、理解(りかい)することができる。				【到達目標】 高齢者(こうれいしゃ)の特徴、接し方(けしほう)、介助(かいすけ)の仕方を学ぶ。 実際に高齢者(こうれいしゃ)を招いて、お年寄り(おとしより)の寄り添い(よきそい)方、傾聴(けいしやう)するということを学ぶ				
6	【授業単元】 記憶(きおく)とはなにか?			14	【授業単元】 高齢者(こうれいしゃ)に多い疾患(かっしん)について				
	【到達目標】 記憶(きおく)について学ぶことができる				【到達目標】 高齢者(こうれいしゃ)の疾患(かっしん)を学び、現場(けんば)での気づきにつなぐことができる				
7	【授業単元】 廃用症候群(はいようしやうぐん)について			15	【授業単元】 テスト				
	【到達目標】 廃用症候群(はいようしやうぐん)とはなにか、予防方法(よぼうはうほう)はどうしたらよいのか学ぶ				【到達目標】				
8	【授業単元】 福祉用具(ふくしようぐ)とはなにか			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、A からFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点 満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数 でない場合は、小数点以下は切上げとする。					
	【到達目標】 福祉用具についてまなぶことができる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

授業概要

科目名	介護のこころ	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	植村美香子(uesan株式会社)		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義・演習	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・介護現場で相手の立場に立って物事を考える。 ・視点を変えてコミュニケーションする。 ・こころに寄り添うプロになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
・10年以上のサービス業界におけるの現場経験を有する講師が、介護現場で欠かせないおもてなしの心と、その心を伝えるために必要な日本語力を実践的な場を想定したシミュレーションと講義を通じて授業を展開する。また、ひとりひとりに適切なサービスを提供する視点を養うために、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
「外国人のためのやさしく学べる介護のことば」初版第3刷発行					学んだことを他の授業やアルバイトで実践してください。				
	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 ・オリエンテーション(授業の目的・介護とは何かを理解する) ・基本のあいさつ			9	【授業単元】 ・高齢者とのコミュニケーション①(あいさつ・やさしい日本語) ・入浴に関係することば				
	【到達目標】 ・介護とは何かを理解し、日本語で介護を学ぶ目的を理解する ・利用者や職員と交わすあいさつのことばがわかる				【到達目標】 ・高齢者と接するときの基本的なあいさつと言葉づかいを理解する ・浴室の中の物の名前がわかる ・入浴の始めから終わりまでのことばがわかる				
2	【授業単元】 ・介護の基本のことば①(食べる・飲む・歩く・立つ・座る・寝る) ・介護の仕事のことば			10	【授業単元】 ・高齢者とのコミュニケーション②(ゆっくり話す練習) ・排泄に関係することば				
	【到達目標】 ・介護でよく使う基本的な動作のことばを理解する ・介護の仕事をする前の基本のことばを理解する				【到達目標】 ・相手に伝わりやすい話し方を理解する ・お手洗いのものの名前がわかる ・排泄の始めから終わりまでのことばがわかる				
3	【授業単元】 ・介護の基本のことば②(トイレ・お風呂・痛み・大丈夫・ゆっくり) ・病気、症状、バイタルチェックのことば			11	【授業単元】 ・会話のロールプレイ(高齢者との会話) ・レクリエーションのことば				
	【到達目標】 ・介護現場でよく使う基本的な動作のことばを理解する ・病気や症状の名前を理解する				【到達目標】 ・ロールプレイを通して高齢者との基本的な会話を実践する ・レクリエーションの種類がわかる				
4	【授業単元】 ・高齢者とは(加齢による身体の変化) ・薬に関係することば			12	【授業単元】 ・日本と自国の介護文化の違い ・リハビリテーションのことば				
	【到達目標】 ・加齢により身体機能が変化することを理解する ・症状と薬の種類を理解する				【到達目標】 ・日本の高齢者への関わり方や介護の文化を理解する ・リハビリテーションのときに使うことばがわかる				
5	【授業単元】 ・高齢者体験①(見えにくさ・聞こえにくさ) ・人間のからだのことば			13	【授業単元】 ・良い介護・悪い介護(事例検討) ・巡回、巡視、勤務に関係することば				
	【到達目標】 ・高齢者の視覚・聴覚の変化を体験し、生活を理解する ・からだの場所のことばがわかる				【到達目標】 ・事例を通して、望ましい介護の関わり方を考える ・シフトについてのことばがわかる				
6	【授業単元】 ・高齢者体験②(身体の動きにくさ) ・生活のことば			14	【授業単元】 ・利用者とのコミュニケーション実践 ・日本の生活のことば				
	【到達目標】 ・身体機能の低下を体験し、高齢者の生活の困難さを理解する ・生活に関係することばがわかる				【到達目標】 ・高齢者への声かけや関わり方を実践的に理解する ・時間、曜日、季節の行事、お祝いなどが理解する				
7	【授業単元】 ・高齢者体験③ ・移動、移乗のことば			15	【授業単元】 ・1～14の振り返り ・定期試験と解答および解説				
	【到達目標】 ・手の動きが不自由な状態を体験し、食事や着替えの大変さを理解する ・移動のための姿勢のことばがわかる ・移動のために使う道具の名前がわかる				【到達目標】 ・前期の学習内容を振り返り、理解を確認する				
8	【授業単元】 ・1～7の振り返り ・中間試験と解答および解説 ・食事に関係することば			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。					
	【到達目標】 ・これまで学習した内容を振り返り、理解を確認する ・食べ物、飲み物の名前がわかる ・食事の始めから終わりまでに使うことばがわかる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・多様な視点から相手を理解する姿勢を身につけましょう。 ・「共感」を意識しましょう。									

授業概要

科目名	介護のこころ	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	植村美香子(uesan株式会社)		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	講義・演習	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・介護現場で相手の立場に立って物事を考える。 ・視点を変えてコミュニケーションする。 ・こころに寄り添うプロになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
・10年以上のサービス業界におけるの現場経験を有する講師が、介護現場で欠かせないおもてなしの心と、その心を伝えるために必要な日本語力を実践的な場を想定したシミュレーションと講義を通じて授業を展開する。また、ひとりひとりに適切なサービスを提供する視点を養うために、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
「外国人のためのやさしく学べる介護のこころ」初版第3刷発行					学んだことを他の授業やアルバイトで実践してください。				
	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 ・前期復習 ・後期オリエンテーション			9	【授業単元】 ・介護職の仕事とチームケア				
	【到達目標】 ・前期で学習した内容を振り返り、介護の基本を再確認する				【到達目標】 ・介護職の役割や仕事の内容を理解する ・介護がチームで行われることを理解する				
2	【授業単元】 認知症の基礎理解(物わるれとの違い)			10	【授業単元】 ・家族との関係				
	【到達目標】 ・認知症の基本的な特徴を理解する				【到達目標】 ・利用者の家族との関わり方の大切さを理解する				
3	【授業単元】 ・認知症の基礎理解人の気持ち			11	【授業単元】 ・介護のマナー				
	【到達目標】 ・認知症の人が感じる不安や困りごとを理解する				【到達目標】 ・介護職としての基本的なマナーを理解する				
4	【授業単元】 ・認知症体験(記憶や状況が分からない体験)			12	【授業単元】 ・トラブル対応(困ったときの行動)				
	【到達目標】 ・認知症の人の立場を体験し、気持ちを理解する				【到達目標】 ・介護現場で困ったときの基本的な対応を理解する				
5	【授業単元】 ・認知症の対応(優しい声がけ)			13	【授業単元】 ケーススタディ①(良い対応を考える)				
	【到達目標】 ・認知症の人への基本的な対応方法を理解する				【到達目標】 ・事例を通して適切な介護の方法を考える				
6	【授業単元】 ・尊厳とは(人として大切にすること)			14	【授業単元】 ・ケーススタディ②(グループで考える)				
	【到達目標】 ・介護における尊厳の大切さを理解する				【到達目標】 ・事例について話し合い、自分の考えを発表する				
7	【授業単元】 ・自立支援(できることは自分で)			15	【授業単元】 1～14の振り返り 定期試験 解答および解説				
	【到達目標】 ・高齢者の自立を支える介護の考え方を理解する				【到達目標】 ・1年間のまとめとして、介護の基本的な考え方を理解する				
8	【授業単元】 1～7の振り返り 中間試験 解答および解説			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。					
	【到達目標】 ・多様な視点から相手を理解する姿勢を身につけましょう。・「共感」を意識								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・多様な視点から相手を理解する姿勢を身につけましょう。 ・「共感」を意識しましょう。									

授 業 概 要

科目名	スキルアップ実習	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	佐々木志保他		
学科 コース	介護基本科	学年	1年	授業の 方法	実習	単位数	12 単位	総時間数	540 時間
【授業を通じての到達目標】									
対象者の一日の生活の流れを理解し、施設の動きを学ぶ。また利用者・職員とのコミュニケーションや利用者の気持ちを理解する経験を積む。施設で専門用語に触れ、理解し介護の基本を学ぶ。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
利用者の望む生活とはどのようなものか、利用者の接し方や対応の仕方、施設の仕事の一連の流れなど、実践しながら学び、次年度の介護福祉士科への進学に向けていく。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
実習と記録					実習時間以外も実習日誌の記入や実習課題等に取り組む。疑問に思ったことを自分で振り返る。それを記入する。				
授業計画									
ア 施設奨学生として、現場でのスキルや、利用者や職員への接し方などを学ぶ イ 利用者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる ウ 高齢者の身体の仕組みや変化等を実践通して学ぶ エ 高齢者と接することで、日本の昔の生活スタイルを理解する。 オ 施設での記録方法を見て、書き方などを知る。									
【履修に当たっての心構え・留意点】					【成績評価の方法と基準】				
施設の中で自ら必要となる仕事を探し、主体的に動くことができる。 だれにでも進んで挨拶することができる。 報告・連絡・相談を実施するように努める。					実習日誌の記載内容及び巡回にて評価を行う。				